



# 「まち、わたし、ひろがる」 ～スポーツを通じた官民連携のまちづくり～

太田市 スポーツ振興課、スポーツ施設管理課

太田市は、北関東随一の工業都市として多くの雇用を創出していますが、観光消費を中心とした域内消費が少ないことから、その拡大が課題となっています。以下では、スポーツとまちづくりの親和性に着目した本市の官民連携による取り組み(「スポーツによる持続可能なまちづくりプロジェクト」、「OTA アリーナ(仮称)を核としたまちづくり推進計画」)をご紹介します。

## ■ 契機

運動公園内に存在する市民体育館の老朽化及び災害時における避難所の運営に課題が生じたことから、建て替えの機運が生じました。それに伴いスポーツを通じた地域活性化や経済活性化を目指して、「スポーツによる持続可能なまちづくりプロジェクト」を策定しました。計画の中心施設となる太田市総合体育館(オープンハウスアリーナ太田)は、スポーツの持つ成長性を取り込みつつ、地域経済の持続的成長を実現していくための新たな交流拠点と位置付け、集客を図ることで年間を通じた賑わいを創出していくことを目指しています。

建設される施設を核としてまちづくりを進めるため「太田未来創造会議」への参加者を募集し、3回のワークショップを重ねてきました。参加者の意見をもとに作成された「OTA SPORTS VISION BOOK」には、スポーツでまちをひろげるための自由なアイデアが綴られています。

## ■ 具体的な取り組みについて

### (1) 関連施設の整備

令和5年4月にコンパクトなアリーナに劇場型照明を有し、国内トップクラスの観戦環境を備えたオープンハウスアリーナ太田が完成しました。

アリーナの建設と並行して公園内の通路や広場の整備を行い施設のフラット化を図り、またウッドデッキを有する花壇の設置などを行って利用者が安全・安心にご利用いただける施設としました。

また公共交通の拠点であるバスターミナルやスポーツ広場に3×3バスケットボールコートを整備して、気軽にバスケットボールを楽しむ空間を創出しました。



整備された運動公園



## (2) OTAマルシェ

オープンハウスアリーナ太田での群馬クレインサンダーズホームゲーム開催時には、チームと観光交流協会が協働し、「OTAマルシェ」が開催されています。新たに完成した中央ステージではステージイベントが開催され、休憩所も臨時に増設されるなど、運動公園内は毎回多くの来場者で賑わっており、交流人口の増加を通じた地域経済の活性化が期待されます。



マルシェの賑わい

## (3) 太田スポレク祭

28回目となった2023太田スポーツ・レクリエーション祭では、2日間にわたり園内に多数の来場者がありました。みんなの力でまちを元気にしたいというコンセプトで1日目に開催した「応援フェスティバル」では、サンダーズオフィシャルチアダンサーのサンダーガールズにオープニングを飾っていただき、市内団体、県内高校チームと日本体育大学ソングリーディング部の特別出演により、オープンハウスアリーナが老若男女で埋め尽くされました。余談ですが、出演団体の指導者同士が大学時代の友人であり、数年ぶりにこのイベントで再会したというエピソードも聞こえてくるなど、スポーツの力で人の繋がりが「ひろがる」ことを実感しました。



応援フェスティバルの様子

## (4) 広報活動

運動公園でのイベントに加え、スポーツによるまちづくりに関する積極的な広報活動も実施しています。

- ・ 市役所職員を中心に、執務中「サンダーズ応援ポロシャツ」を着用
- ・ 太田駅の北口、南口のシェルターにサンダーズのフラッグを設置
- ・ 日本郵便株式会社とも共同し、市内26箇所の郵便ポストを市内小学生の投票によって選ばれたデザインにラッピング
- ・ 東京ドームで開催された第94回都市対抗野球全国大会では、5年ぶりに太田市代表として出場したSUBARU野球部の応援バスツアーを実施
- ・ 秘書室、広報課と協働して東京ソラマチで開催されたイベントに出店。チームスタッフも合流し、「スポーツのまち」と「ものづくりのまち」を同時にPR など



太田駅でフラッグがお出迎え



ラッピングされた郵便ポスト

## ■ 終わりに

今後も、様々な部署、様々な主体と連携しながら、スポーツを通じたまちづくり施策の深化を図っていきたいと考えています。